

●第82号(一九八四年九月)

特集・緑保存の方策

「都市自然」保全の論理と方法——進士五十八
都市自然をどう守るか——手塚隆晴 岸 達男

斜面緑地のもつ問題と課題——小澤恵一 片田卓夫
緑地保存の可能性と課題——河合正嗣 北村正明

港北の自然環境を考える——原田敏樹 加藤真知子
市民の緑保存の活動——浅見昭雄 木村敬三

①「会下谷の林」から何を学ぶか——行武経夫
②なぜ赤田か——萬羽敏郎

③谷戸文化ふたたび——十文字修
宅地開発と緑の保存——大門洋文

イギリスの環境保全活動——門脇蓉子
「木を植える文化」と都市生活——富山和子

行政研究——佐藤寛一
横浜の源流域——村・町・行政区域——兼松仁礼夫 出雲路秀昭

新書紹介／地球レポート緑と人間の危機——梶 康則

●第83号(一九八四年十一月)

特集・横浜と商業

都市と商業コミュニティ・マート時代の商業環境——宇壽山武夫

横浜における商業の現状と課題——新井 貴

横浜商業の振興について——鈴木幸生

多品種少量生産下の小売構造の変化——菅原一孝

横浜市の商店街振興施策——細谷 延・松江節子

再開発事業と商業——佐藤雅彦・本多俊雄・茅野純一・佐藤和雄

横浜の商店街の現状と課題(インタビュー)——金井国男

高野 豊・五十嵐周作・宮田光夫

保坂民雄・山川孝一・近沢弘明

行政研究——中村俊輔・竹内正二

港北ニュータウンの景観計画——庄司敏雄

新書紹介／ネットワーキング——藤又 衛

●第84号(一九八五年二月)

特集・福祉と民間活力

福祉社会の基礎的構造——久場嬉子

私の体験を社会へ——渡辺孝子

これからの福祉行政——杉山 彰

老人と地域社会——中村和雄

高齢者の経験と能力を生かすために——岩澤幹雄

福祉における最近の事例と民間活力——山田瑠璃子

市民の公共的活動と行政支援——金子延康

行政研究——まちづくり研究会

大分一村一品運動の実際——地域経済グループ

公立文化施設の事業統計の意義と標準化——新井国徳

新書紹介／ポスト・サーヴィス社会——下嶋邦明

②戸塚B区の編成と今後の課題——石原昌信

地域の主体性と区行政——大野紀雄・古川邦雄

区における活性化に向けて——矢部純枝・大野達雄・村田和義

区における技術部門のあり方——原田敏樹

①区建築課の現状と課題——新野裕秀

②まちづくりと区建築課——田口俊夫

地域づくりと区社会教育——榎間早穂

港北区の区政懇話会——加藤真知子

保土ヶ谷区のコミュニティ研究——塩野孝志

金沢区アメニティ・タウン計画——村井 淳

社会教育事業との出会い——三井一代

個人情報処理とプライバシー保護——綾部一明

参考資料／区行政のあり方を考えるために——長尾政治

新書紹介／経済活力の源泉

●第85号(一九八五年三月)

特集・区行政—あり方と個性ある地域づくりの試み

座談会：これからの区行政——細郷道一・宮永啓子

根上三千代・島田靖之・原田敏樹・二木健夫

行政区再編成の過程と課題——五月女哲夫・二木健夫

住民からみた戸塚区分区問題——松田栄吉

①戸塚A区の問題点と今後の課題

昭和60年(1985年)10月28日

編集・発行——横浜市企画財政局都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2029 郵便番号——231

印刷——内村印刷株式会社

横浜市中区末吉町1-12

●横浜市のデータ

人口——2,990,175人<60・9・1>

世帯数——1,035,939<60・9・1>

面積——430.42km²<60・9・1>

帆船日本丸入場者数——193,458人<60・4~60・7>

横浜こども科学館入場者数——310,466人<59・5~60・3>

横浜人形の家入場者数——120,116人<59・4~60・3>

大佛次郎記念館入場者数——124,183人<59・4~60・3>

三溪園入場者数——467,458人<59・4~60・3>

横浜海洋科学博物館入場者数——517,116人<59・4~60・3>